

和歌山中ロータリークラブの奉仕活動のご紹介

2006・1・16

当クラブの奉仕活動の内、主な四つの奉仕活動につき、下記A～Dにてご紹介
します。

A. フィリピンにおける主要プロジェクト：

・ フィリピン共和国ラグーナ州サンペドロ市におけるWCS（世界社会奉仕） デイケアセンター保育園プロジェクト：1990年～

(1) 経緯：

1990年、当クラブ創立5周年記念事業剰余金を基に、柳瀬会長、大平国際奉仕委員長がWCSプロジェクトNO. 3349への取り組みを決定、パートナークラブであるサンペドロロータリークラブとプロジェクト実行への取り組みを開始した。1991年7月、第1番目のデイケアセンター保育園建物（約100㎡）がサンペドロ市キュヤブ地区に完成。貧困地域の家庭の3～5才児童約80名を対象に教育・給食サービスを開始した。以来2003年8月までに6カ所のセンターを建設。土地はサンペドロ市所有地またはサンペドロロータリークラブ会員の寄贈による。センター教員はサンペドロ市役所福祉課が派遣している。現在約480名の児童及びそのご家族に貢献する事が出来ている。

(2) 6カ所のセンター及び当クラブの支援概要：

センター名	年度	当クラブ支援内容・金額	特記事項
キュヤブ	1991年7月	建物建設（150万円）	<ul style="list-style-type: none"> サンペドロ市が土地提供。 1992年ラグーナ州最優秀デイケアセンター賞及び最優秀教員賞（ピクトリア・マルティネスさん）受賞。
マグサイサイ	1995年4月	建物建設（50万円） 教材費（20万円）	<ul style="list-style-type: none"> サンペドロRCも建設費用として約60万円拠出。 当クラブ支援金の50万円は当クラブ神前正造会員及び西嶋誠造元会員によるチャリティー展「二造展」（1993年7月実施）の収益による。
	1996年2月	運動場整備、運動器具、教材・教育機器 （2,000ドル）	<ul style="list-style-type: none"> 国際ロータリーの同額補助金取得（マッチンググラントNO. 5814）、RIから4,000ドルの支援金獲得。（サンペドロRCも2,000ドル拠出）
	1996年6月	楽器120個（ピアノ、ドラム等）空輸	<ul style="list-style-type: none"> 和歌山市安原幼稚園の寄贈 ノースウエスト航空の協力
バゴン・シラング	1997年6月	建物建設（21万円）	<ul style="list-style-type: none"> 市内8クラブの支援59万円、当クラブ支援と合わせ80万円。 サンペドロRC3,400ドル拠出。 建設費合計約120万円。

	1998年	運動場整備(50万円)	・市内8クラブから28万円。当クラブからの50万円とあわせ支援額合計5,800ドル。整備費用2,500ドル。残金3,300ドル。
エルヴィンダ・ヴィレッジ	2000年1月	建物建設(3,600ドル)	・上記残金3,300ドル、当クラブから3,600ドル。サンペドロRCから4,200ドル。当時の為替レートで約120万円。
サン・ロケ	2001年2月	建物・運動場(45万円)	・市内9クラブIM残金90万円、当クラブ支援45万の合計135万円を支援。 ・土地はサンペドロRC会員が寄贈、建物面積110㎡。
サン・ヴィセンテ	2003年8月	建物建設(110万円)	・当クラブ松本会員からの大口寄付及び国際奉仕予算から合計130万円。

第1番目のデイケアセンター
キュアブセンター
(1991年建設)



第2番目のデイケアセンター
マグサイサイセンター
(1995年建設)



第3番目のデイケアセンター
バゴング・シラングセンター
(1997年建設)



第4番目のデイケアセンター
エルヴィタ・ヴィレッジセンター
(2000年建設)



第5番目のデイケアセンター
サン・ロケセンター
(2001年建設)



第6番目のデイケアセンター
サン・ヴィセンテセンター
(2003年建設)



. 野口プロジェクト：2002～2003年

(1) 経緯：

当クラブ野口榮夫会員の提唱により、フィリピン第3820地区2001～02年ジミー・ハオ地区ガバナー（サンペドロRC会員）に働きかけ、同地区で7つのWCSマッチンググラントプロジェクトに取り組んだ。1プロジェクト当り\$2,000ドル、7プロジェクト合計\$14,000の予算に対し、当クラブは野口会員の大口寄付並びにボックスへの有志会員寄付合計\$3,500を支援、第3820地区が地区ファンドから\$3,500を拠出、RIからマッチンググラントとして\$7,000を獲得した。

(2) 各プロジェクト概要：

	マッチング グラント No.	相手先クラブ	プロジェクト概要
		プロジェクト名	
(1)	No.19827	The RC of Isarog (イサログRC)	San Jose 市 San Antonio 地区の貧困地域における3～6才の児童への教育、給食を目的とした養護施設 San Antonio デイケアセンターへ書籍、本棚、机、椅子、教育機器(ビデオ・テレビ他)及びエアコン設備を設置
		デイケアセンター プロジェクト	
(2)	No.19833	The RC of Lipa North (リパ北RC)	Lipa 市 Kayumanggi 地区の Sito Hagimit 村への公衆トイレの設置
		公衆衛生プロジェクト	
(3)	No.20502	The RC of San Pablo Central (サンパブロ セントラルRC)	結核予防のための父兄、教員対象のセミナー開催 小児結核児童への化学療法の実施(\$5×2回/月×30名×6ヶ月)
		結核撲滅プロジェクト	
(4)	No.20503	The RC of Metro Lipa (メトロリパRC)	Lipa 市の Bulaklakan 地区及び Tibig 地区の2つの デイケアセンターへの机(12コ)椅子(60コ)、本 棚、救急箱、積み木、クレヨン、運動場へのシー ソー、ブランコ、すべり台等の購入及び設置
		デイケアセンター プロジェクト	
(5)	No.20504	The RC of San Pablo City (サンパブロシティRC)	B型肝炎に関するセミナー実施 児童300名に対するワクチンの投与
		B型肝炎撲滅プロジェクト	
(6)	No.20505	The RC of Candelaria (カンデラリアRC)	Malabanban Norte 地区及び Masin Sur 地区の2つの デイケアセンターへ教材を購入、設置(英語、算数、 理科、図工等)
		デイケアセンター プロジェクト	
(7)	No.20506	The RC of Lucena University District (ルセナユニバーシティ RC)	Lucena U.地区デイケアセンターへの教材、スケッ チブック、クレヨン、机(80コ)椅子(80コ)、 扇風機、本棚、楽器、救急箱、カラオケセット等の 購入、設置
		デイケアセンター プロジェクト	

The RC of Metro Lipa (メトロリパ RC)

Lipa 市の Bulaklakan 地区及び Tibig 地区の 2 つのデイケアセンターへの机 (12 台) 椅子 (60 脚)

本棚、救急箱、積み木、クレヨン、運動場へのシーソー、ブランコ、すべり台等の購入及び設置



The RC of Candelaria

(カンデラリア RC)

Malabanban Norte 地区及び Masin Sur 地区 2 つのデイケアセンターへ教材を購入、設置 (英語・算数・理科・図工等)



Posing for posterity; Wearing blue vest, standing from left to right, Pres. Bambi Pavon, Pte Jhun Riego, Pte Louie Briones (in white polo) RTN, Cesar Marquez Bngy. Capt., Joe Landicho (in white T-shirts) IFF Pol Sugay (project contact person and Miss Asuncion G. Gardon (DGDW Officer)

. 台風・洪水被災地への援助：2004年12月

2004年11月発生の台風による風水害に対し、当クラブから\$2,000をサンペドロ RCを通じてフィリピン ケソン地方インファンタ地区へ援助。サンペドロ RCはインファンタ RCと協力し、陸地から孤立した Pinaglipatan 村に井戸を掘り、清潔な飲料水供給プロジェクトを実行した。

フィリピン ケソン地方・風水害被災地への援助 2004年12月

Joint support of RC Wakayama-Naka & RC San Pedro to Infanta district, Quezon.



清潔な飲み水の為の井戸



現地入りしたサンペドロ RC のメンバー
(他にアルフォンソなど計11名同行)
このプラスチック容器で水を各家庭へ



インファンタロータリークラブによる歓迎のバナー
「和歌山中 RC による支援」との文言

・フィリピン4年生大学スカラーシップ(奨学生)プロジェクト：2005

年6月～

(1) 経緯：

当クラブ創立20周年記念事業の一環として、貧困家庭のデイケアセンター卒園生に高等教育の機会を提供するという目的で企画。サンペドロRCスカラーシップ委員会(エミール・メンディオーラ パスト会長が委員長)による選抜試験を経て、2005年2月当クラブ一行がサンペドロ市を訪問した際に、奨学生2名とその両親に面談した。

(2) 2名の奨学生について：

両名共第1番目のデイケアセンターであるキュヤブセンターの第1回卒園生。

氏名	在籍大学	特記事項
パオロ・ミゲル・カタリーヤ 1988年10月13日生	マニラ市エントロ・エスコラー大学 看護学科	父親は無職
エリクソン・A・アミオン 1989年1月31日生	同上 心理学科	父親はトライシクルの運転手

(3) 予算：

1名4年間で約\$10,000(年\$2,500)

2名 " \$20,000(年\$5,000)

スカラーシップ支給対象費用：

授業料、教材費、寮費又は交通費及び委員会にて定める一定額の食事代、小使い



第1番目のキュヤブセンター卒園生の彼らを4年生大学へ進学支援

(4年間)

2人は現在マニラのセントロ・エスコラー大学に在籍しています。

右：パオロ・ミゲルR・カタリーヤ君(Paolo Miguel R. Catilla)は

看護学科

左：エリクソンA・アミオン君(Erickson A. Amion)は心理学科

・その他特筆事項：

(1) サンペドロロータリークラブとの姉妹クラブ締結：

サイパンロータリークラブとの姉妹クラブ終結(1988年)に続き、当クラブ2番目の海外姉妹クラブとして、1994年6月サンペドロロータリークラブ一行来日時に調印。締結時会長は当クラブ市川一郎会長、サンペドロRCレオニロ・R・アルフォンソ会長。

(2) 阪神淡路大震災へのサンペドロRCからの義援金：

震災直後の1995年2月、サンペドロRCを代表して、ルディ・マグシノ会員が関西国際空港まで\$2,000を持参、同じ飛行機でそのまま帰国。頂いた義援金は、神戸のフィリピン領事館を通じ、在日フィリピン人の方々への支援金として寄付。

(3) デイケアセンター教員を日本へ招待：

2000年10月の当クラブ創立15周年に際しては、デイケアセンター教員及びサンペドロ市福祉担当スタッフを当クラブ負担にて日本へ招待、市内幼稚園、福祉施設見学の機会を提供した。